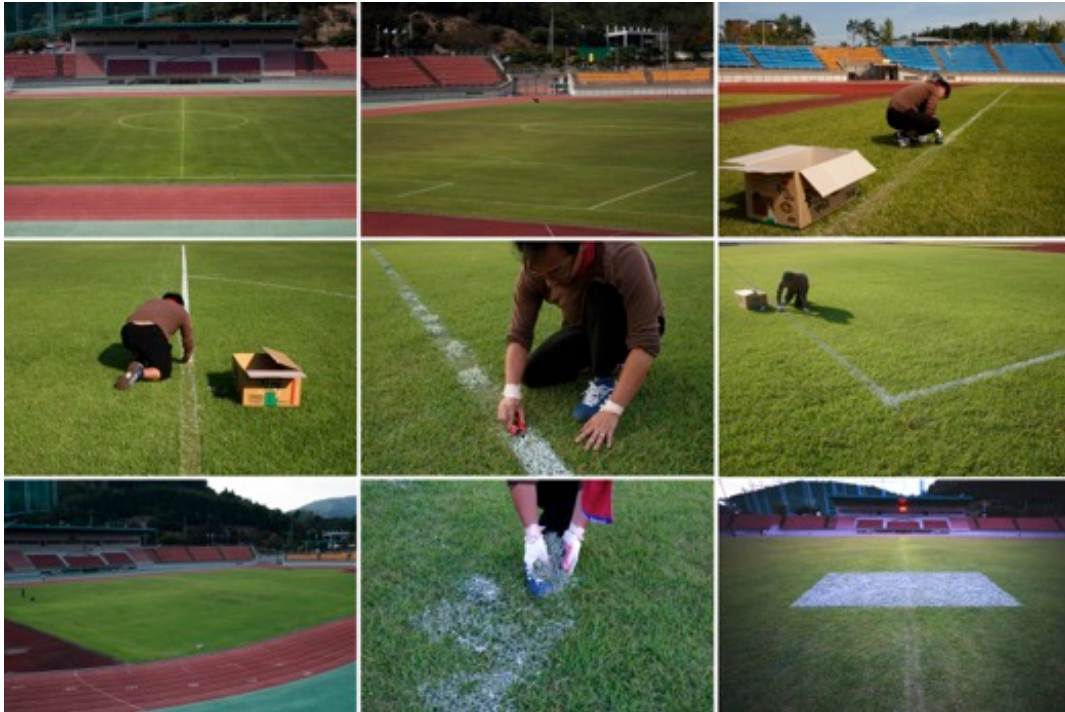




LEE Wonho *The weight of the vacuum*

イ・ウォノ 「空白の重さ」



The White field III, 2011 (process) © Wonho Lee, Courtesy of Yumiko Chiba Associates

会期： 2017年5月9日（火） - 6月17日（土）

会場： Yumiko Chiba Associates viewing room shinjuku

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 4-32-6 パークグレース新宿 #206
営業時間：12:00-19:00 定休日：日、月、祝日

トークイベント： 5月9日（火）19:00 - 20:00 ※要申込

イ・ウォノ x 米田尚輝（国立新美術館研究員）x 富井大裕（美術家）

会場： 角管地域センター7F 会議室A（〒160-0023 東京都新宿区西新宿4丁目33-7）

オープニングレセプション： 5月9日（火）20:00 - 21:00

会場： Yumiko Chiba Associates viewing room Shinjuku

*トークイベント終了後、会場を Yumiko Chiba Associates viewing room shinjuku へ移して開催いたします（トーク会場より徒歩約1分）。

2017年5月9日（火）より、Yumiko Chiba Associates viewing room shinjuku にて、イ・ウォノの個展「The weight of the vacuum <空白の重さ>」を開催いたします。

イ・ウォノの作品として近年記憶に新しいのは、国立新美術館での「アーティスト・ファイル 2015 隣の部屋 ー日本と韓国の作家たち」展で展示された巨大な段ボールの家でしょう。この「浮不動産」という作品で使われている段ボールは、イ・ウォノがソウルや東京でホームレスがたくさん住む場所を訪れ、彼らが居住している段ボールの家を価格交渉の末、実際に購入したものです（それぞれのホームレスと交わした取引証明書と共に展示）。「家」は資本主義社会において、資産であり、財産を測るものさしであり、富の象徴そして憧れの対象にもなり得ます。しかしながら、こうした社会的に認められた「家」を持たないホームレスが、段ボールの「家」を紙幣に置き換え、再度、経済的価値をつけたとき、彼らは法外な価格を提示しませんでした。このことは、彼らにとって「家」は財産ではなく、もっと本質的な意味での価値（外部から身を守る、寒さや暑さをしのぐ等）に基づくものであることを示します。イ・ウォノはこの作品で、わたしたちの考える価値とは何なのかを問いかけます。そして、「家」に代弁される人間の欲望、資本主義社会において付随した「住む場所」として以外の、表層的で虚無な価値を露わにし、視覚化しようとしています。



日本で初の個展となる本展では、「The White field」シリーズの中からサッカースタジアムに引かれたコート
の白線を集めて塊にし、白い平面として空間に再出現させた作品を展示いたします。競技において特定のルールに
基づいて引かれた白線は、内側と外側を定め、人はそれに従いゲームを行い、また判断を下します。しかし、コ
ートから分離され、展示スペースというコンテクストに現れた白線の塊は、その本来の機能を失い、定義された
境界はもはや意味をなくします。

このように、イ・ウォノは我々が普段何の疑問もなく持っている価値をその定義ごと解体し、全く異なる新たな
次元に構築し直すことで、その差異から露わになる、過剰なき本質的な概念を喚起しようとしています。資本主義社
会に生きるわたしたちが、疑いもなく享受している価値観に改めて問いを投げかけるイ・ウォノの作品を是非と
もご高覧ください。

尚、展覧会オープニングに合わせ、国立新美術館で上述の「アーティスト・ファイル 2015 隣の部屋」展をキ
ュレーションし、今回の研究冊子に執筆をいただいた米田尚輝氏と、美術家の富井大裕氏をお招きし、作家との
トークイベントを予定しております。合わせてご案内いたします。

■作家ステートメント

The White Field

誰にでも開かれた空間ではあるが、条件により、誰かにとっては自分たちの領域を、また誰かにとっては超えてはいけ
ない線を意味する競技場の白線からアイデアを得たものが「The white field」シリーズである。スポーツ競技場の上に
区画された競技場の白線、即ちテニスコートの赤土の上に引かれた幅5cmのラインパウダーを筆で収集したり、サッカ
ーグラウンドの芝生の上に引かれた幅11cmの白いペイントラインをはさみで切り集めた。収集された白線はそれぞれの
ラインが持つ幅と長さの総合により、新しい面積へと換算されて現れる。

競技場の形を持ちながらも、規定や境界、規則を意味する線だけでなされた一つのwhite fieldが新たに作り上げられる。
このwhite fieldでは、本来なら主となるべき赤土のコートや緑のグラウンドの代わりに境界や規則、規定だけが残ることで、
かえって反語法的に、線が持っている本来の意味である境界や規定はその役割を失い、white fieldは一つの無化され
た空間へと還元される。このような構造に対する抵反と再配置により、私たちの社会の規則と秩序に対して、私は再び
考える機会を持つようとしている。

Looking for

私が暮らしている地域の地下鉄駅周辺には不動産の広告、住宅売買のビラが所々に貼られている。殆どのビラは物件
周りの環境や正確な位置情報が漏れていて、信頼を与えるには至らないが、華やかな色と大胆な謳い文句、価格、そ
してきれいに整えられた室内空間のイメージなどで人目を惹く。このようなビラに表れている住宅売買情報には、もはや
人生の痕跡を刻んでいく本来の価値としての「家」は意味されていない。むしろビラのなかの情報は、おそらく、価値・
所有・欲望・現実・生存・剰余などの問題が複雑に絡んだ空間へと私たちを招くよう機能しているのであろう。

街のビラを収集した後、私はその上に金箔を施した。手で掴み取る前に壊れてしまう、薄く無邪気な欲望としての金箔
は、ある瞬間また違う異面の欲望で自身を飾って現れる。不動産のビラの中の物件情報は、金箔の華やかさに埋もれ、
詳しく読まない限りその存在に気づき難い。しかし、近づいてみるとビラに印刷された家のイメージは消え、その中に埋
もれていたビラのテキスト、即ち具体的な金額や家の大きさに対する内容だけが、端のたわんだビラの中から見えてく
る。

2017年4月
イ・ウォノ



■トークイベント

日時：2017年5月9日(火) 19:00 - 20:00

会場：角筈地域センター7F 会議室 A (〒160-0023 東京都新宿区西新宿4丁目33-7)

登壇者：イ・ウォノ x 米田尚輝 (国立新美術館研究員) x 富井大裕 (美術家) / 韓国語・日本語逐次通訳有

*参加費無料、事前申込制、定員 20 名

米田尚輝 (国立新美術館研究員)

京都府生まれ。2007年より国立新美術館勤務。国立新美術館での担当展に、「『具体』—ニッポンの前衛 18年の軌跡」(2012年)、「クレラー=ミュラー美術館所蔵作品を中心に 印象派を超えて一点描の画家たち ゴッホ、スーラからモンドリアンまで」(2013年)、「アーティスト・ファイル 2015 隣の部屋—日本と韓国の作家たち」(2015年、2015-16年にかけて韓国国立現代美術館果川館へ巡回)など。論文に、「モンドリアンとファン・ドゥースブルフのグラフィック・イメージ」(『引込線 2013』、引込線 2013 実行委員会、2013年)、「ゾフィー・トイパー—1910-20年代のデザイン理論」(『NACT review 国立新美術館研究紀要』、国立新美術館、2015年)など。東京在住。

富井大裕 (美術家)

1973年新潟県生まれ、神奈川県在住。既製品に最小限の手を加えることで、それらを固定された意味から解放し、色や形をそなえた造形要素として、「彫刻」のあらたな可能性を模索する。近年の展覧会に、「『再考現学 / Re-Modernologio』 phase2:観察術と記譜法」(国際芸術センター青森、2011年)、「所沢ビエンナーレ美術展 2011 引込線」(2011年)、「横浜トリエンナーレ 2011」(横浜美術館、2011年)、「MOT アニュアル 2011」(東京都現代美術館、2011年)、「水と土の芸術祭 2012」(万代島旧水揚場、新潟、2012年)、「マンハッタンの太陽」(栃木県立美術館、2013年)、「『combine』-still-」(Yumiko Chiba Associates、2013年)、「ニイガタ・クリエーション 美術館は生きている」(新潟市美術館、2014年)、「開館 20 周年記念 MOT コレクション特別企画クロニクル 1995-」(東京都現代美術館、2014年)、「粘土の為のコンポジション」(Yumiko Chiba Associates、2015年)、「アーティスト・ファイル 2015 隣の部屋—日本と韓国の作家たち」(国立新美術館、東京/ 韓国国立現代美術館(果川館)、韓国、2015-2016年)などがある。また、Twitterにて毎日発表される「今日の彫刻」などと併せ、既存の展示空間や制度を批評的に考察する活動でも注目を集める。

【お申し込み方法】

件名「トークイベント参加」、本文に、参加人数、お名前、電話番号をご明記のうえ、event@ycassociates.co.jp までメールでお申し込みください。

*定員 (20 名) になり次第、受付を終了いたします。

*ギャラリーからの返信メールが届かない場合は、営業時間内にお問合せください。

■オープニングレセプション

日時：2017年5月9日(火) 20:00-21:00

会場：Yumiko Chiba Associates viewing room shinjuku

*トークイベント終了後、会場を Yumiko Chiba Associates viewing room shinjuku へ移して開催いたします (トーク会場より徒歩約 1 分)。

■研究冊子

本展の開催に合わせ、研究冊子を刊行致します。

『イ・ウォノのオブジェクト』

執筆：米田尚輝

ブックデザイン：小沼宏之

発売日：2017年4月28日 (金)

仕様：A5判、24頁、和英バイリンガル、モノクロ仕様

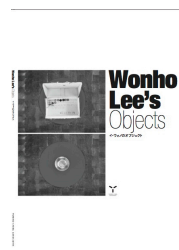
発行元：ユミコチバアソシエイツ

定価：1,000円 (税別)

ISBN978-4-908338-08-3 C0070 1000E

*ご購入は、全国の書店、本展開催ギャラリー、もしくは YCA オンラインストアにて

<http://ycassociates.thebase.in/>



**■作家プロフィール****LEE Wonho (イ・ウォノ)**

- 1972 全羅南道順天に生まれる。現在ソウル在住。
2009 シュトゥットガルト芸術アカデミー彫塑科マイスターシューラー課程終了
2007 シュトゥットガルト芸術アカデミー彫塑科修士課程修了
1999 弘益大学大学院美術学部絵画科修士課程修了
1997 弘益大学美術学部絵画科卒

【主な個展】

- 2015 「珍品と傑作の物語」 衿川アート・スペース PS 333, ソウル、韓国
2014 「I'm not there」 金鍾瑛美術館、ソウル、韓国
「Between looking and seeing」 プリギッテ・マーヒ・ギャラリー、シュトゥットガルト、ドイツ
2013 「層 Story」 クンスト・ドク、ソウル、韓国
2012 「Between looking and seeing 順天湾 国際庭園博覧会 招待展」
ゲッチロニー・ギャラリー、順天、韓国
「Addressee Unknown 受取人不明」グアンファン・ギャラリー、ソウル、韓国
「Void」弘恩芸術創作センター、ソウル、韓国
「Lost Landscape - The white field」
プリギッテ・マーヒ・ギャラリー、シュトゥットガルト、ドイツ
2011 「The white field」ギャラリー・チョンミソ、ソウル、韓国
2009 「Zeitausschnitt」シュトゥットガルト・クンストフェアアイン e.V.、シュトゥットガルト、ドイツ
「9.69sec」プロジェクトスペース・ホワイトヒート、シュトゥットガルト、ドイツ
「re-reflexion」プリギッテ・マーヒ・ギャラリー、シュトゥットガルト、ドイツ
2007 「umstellen」クンストフェアアイン・ルートヴィヒスブルク、ルートヴィヒスブルク、ドイツ
2000 「A story-portrait」ドグオン・ギャラリー、ソウル、韓国

【主なグループ展】

- 2017 「ホームレスの街」 金海文化センター、金海、韓国
2016 「ホームレスの街」 Arko Art Center、ソウル、韓国
2015 「アーティスト・ファイル 2015 隣の部屋——日本と韓国の作家たち」国立新美術館、東京、日本；韓国国立現代美術館、ソウル、韓国
2014 「Intro, Intro」韓国国立現代美術館 ワークショップ・ギャラリー、果川、韓国
「液体文明-韓中現代美術展」ソウル市立美術館、ソウル、韓国
2013 「万物商-事物から存在に」光州市立美術館、京義道光州、韓国
「New & Now ソウル市立美術館新所蔵品展」ソウル市立美術館、ソウル、韓国
2012 「Historical Parade; Images From Elsewhere」ソウル市立南ソウル美術館、ソウル、韓国；CAS、大阪、日本；アートラボあいち、名古屋、日本
2011 「松陰美術大賞展（4人展）作品展」松陰アートスペース、ソウル、韓国
2010 「Der erste Impuls」プリギッテ・マーヒ・ギャラリー、シュトゥットガルト、ドイツ
2009 「U.S.B - Emerging Korean Artists in the World 2009」ハンガラム美術館、ソウル、韓国
「DEUXPIECE」プロジェクト空間ドゥピース、バーゼル、スイス
2007 「Freischwimmer」カールスカーゼルネ芸術センター、ルートヴィヒスブルク、ドイツ
2006 「Vorfahrt ビルケンヴァルト通りのアート・プロジェクト」ビルケンヴァルト通り、シュトゥットガルト、ドイツ
2005 「Promenadenmischungen エトリンゲン、クンストフェアアイン・ヴィルヘルムスヘーエにおける彫刻プロジェクト」エトリンゲン市内、エトリンゲン、ドイツ

【パブリック・コレクション】

- ソウル市立美術館、ソウル、韓国
松陰文化財団、ソウル、韓国
シュトゥットガルト国立美術館、シュトゥットガルト、ドイツ
ディッツインゲン市文化局、ディッツインゲン、ドイツ

【本展に関するお問合せ】 ぜひ貴社にて御紹介くださいますようお願い申し上げます。画像データの御依頼等は下記までご連絡下さい。

ユミコチバアソシエイツ 担当：宮中由紀

オフィス：〒160-0023 東京都新宿区西新宿 4-32-6 パークグレース新宿 #316 [Tel] 03-6276-6731

[e-mail] info@ycassociates.co.jp [website] www.ycassociates.co.jp

[営業時間] 12:00-19:00 [定休日] 日・月・祝日